

利用のごあんない

震災文庫はどなたでも自由にご利用になれます。

大切な資料ですので、貸出はできません。
また、一部複写できない資料があります。

公開場所 神戸大学 社会科学系図書館
管理棟3階

開室時間 平日の午前11時～午後5時

休館日

- 毎週、土・日曜日
- 祝日・振替休日
- 夏季一斉休業日
- 年末年始
- その他、社会科学系図書館が臨時に休館する日

※新型コロナウイルス感染状況等の理由により、開館日・時間、利用方法が変更になる場合があります。

お問い合わせ先

神戸大学附属図書館 震災文庫

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
TEL 078-803-7342 FAX 078-803-7336
shinsai@lib.kobe-u.ac.jp

2022.10

アクセスマップ

バス利用

「阪神御影」・「JR 六甲道」・「阪急六甲」の各駅から、市バス 36 系統にご乗車のうえ、「神大正門前」でお降りください。図書館までは徒歩約 5 分です。

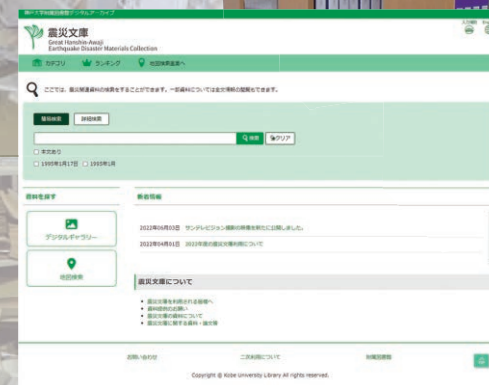
徒歩

阪急「六甲」駅より約 20～25 分
※社会科学系図書館正面入口よりお入り下さい。



震災文庫

(阪神・淡路大震災関係資料文庫)



神戸大学附属図書館

<https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/eqb/>

震災文庫を利用される皆様へ

1995(平成7)年1月17日の阪神・淡路大震災の発生直後から、被害・救援・復興などに関するさまざまな資料・文献が生み出され、その累積数は膨大なものとなっています。

神戸大学附属図書館では、被災地の中心にある図書館の責務として、災害復興や地震研究・防災対策などに役立てていただけるよう、震災にかかわる資料を広く収集し、1995(平成7)年10月30日に「震災文庫」として公開を始めました。

現在に至るまで、多数の皆様のご理解・ご支援により、収集活動を続け、資料の充実、情報発信に努めてまいりました。

これらの資料を貴重な記録としてすべてを保存し、後世に確実に伝えていきたいと考えております。

また、2013(平成25)年3月公開の「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ」(愛称：ひなぎく)に参加しており、こちらから他の災害アーカイブとの横断検索も可能です。

今後も当文庫をご活用くださるよう、お願い申し上げます。



神戸大学附属図書館

所蔵資料について

震災文庫の収集資料は、商業出版物・私費出版物、各種団体・個人による研究報告・調査報告・統計資料・講演会等の記録・レジュメ・チラシ類などの印刷資料のほかに、電子資料(CD-ROM等)・ビデオ・録音カセット・マイクロ資料・写真・地図など多岐にわたります。

当初は1,000点余りの公開資料でスタートした震災文庫も、2022(令和4)年8月末現在約56,000点という大規模なコレクションとなりました。現在でも年間約1,000点の資料を受け入れております。



上記の各種資料を発行された方やお持ちの方は、差し支えがなければ、是非ともご惠贈賜りますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

デジタルギャラリー

震災文庫では、来館できない方にも資料を活用していただくため、デジタル化を積極的に行い、公開しています。デジタル化された資料は、2022(令和4)年8月末現在約12,600件です。一部の資料にはクリエイティブコモンズ・ライセンスが適用されており、事前申請することなく利用することが可能です。



地図検索

膨大な写真資料等を地図上で地点を指定して表示させたり、地域指定とキーワードと組み合わせ検索・表示することができます。

